

情報公開文書

研究の名称	膵頭十二指腸切除術における術後の日常生活動作への影響の評価
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	消化器・腫瘍・総合外科 藤井 努
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科において膵頭十二指腸切除術を予定した 70 歳以上の方。</p> <p>【研究の目的・意義】 手術手技や周術期管理の進歩により、高齢の患者様や重篤な基礎疾患を有するような患者様に対して、手術を行う機会が増えてきています。手術技術の進歩は周術期合併症率の低減に貢献していますが、一方で手術を無事乗り越えたとしても、術前と比較して身体機能が低下して自宅退院が困難となり、転院・転所を余儀なくされるケースも少なくありません。 本研究では、消化器外科領域の中でも侵襲度の高い手術とされる膵頭十二指腸切除術において、術後の身体機能の変化を評価するとともに、リスク因子を抽出、解析することで、手術前後で身体機能が低下しないような周術期管理を行うことを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 2023 年 5 月から 2025 年 12 月までに富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科において膵頭十二指腸切除術を予定した 70 歳以上の症例を対象として、術前および術後（1、3、6、12 か月）に臨床データを収集するとともに、患者様本人への問診を行い、有効性を解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および学術雑誌への掲載により公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いる情報はカルテから、臨床所見、手術所見、術後経過、などの情報を抽出するとともに、患者本人にいくつかの問診を行い、統計学的な解析を行います。また他機関への情報の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 消化器・腫瘍・総合外科 藤井 努
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する

対応窓口	<p>る相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7331</p> <p>FAX 076-434-5043</p> <p>E-mail nytakeda@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 消化器・腫瘍・総合外科 武田直也</p>
------	--